**平成28年度大阪府がん対策推進委員会（概要）**

# 日　時：平成29年3月31日（金）午後4時～午後6時10分

# 場　所：大阪国際がんセンター　講堂

# 議事概要及び委員からの意見要旨

## (1) 部会の活動状況について

【意見要旨等】

　○がん検診については、内視鏡検査が加わったため自治体の方でどのような体制整備が必要か検討を進めているが、いくつかの問題点があるので、体制整備を引き続き進めて行く。がん検診の受診率については向上にむけて、大阪府の方で重点受診勧奨者対象者を第二期の計画に盛り込んでいるが、まだ十分に広がりを見せておらず、3分の1くらいの市町村でしか浸透していない状況。国のクーポン事業や特定健診とバッティングしているところがある。そのあたりにおいて、整備が第三期計画の課題と考えている。

　○個別受診勧奨を取り入れたかどうかアンケート調査を実施したところ、平成28年度の暫定値ではあるが個別受診勧奨の考えを取り入れて実施した市町村は13市町村しかなく、個別受診勧奨を実施していない市町村が１０市町村程度あり十分に浸透していない。全ての市町村での実施をめざして、引き続き、推奨していきたい。

○がん診療拠点病院部会にて、拠点病院を15病院、訪問したが、訪問してみて、気付いた点や良かった点、それぞれの病院の特徴について、公表することは予定していない。各病院に改善してもらうことが目的なので、その点は十分に伝えている。

## (2) 第二期大阪府がん対策推進計画の取組み状況について

## 【意見要旨】

### ○がん教育が次期学習指導要領に入ってきて、平成３０年から先行実施で、平成３３年から全面実施となるので、教員向けの研修会が非常に重要となる。しっかりと計画を立てて進めて欲しい。また、教員向けの研修会に専門医も入って頂いて実施して欲しい。

○肝炎・肝がんについて、肝がんの原因についてはウイルス性由来の肝がんがかなりの部分で占めていたが、最近は。非ウイルス性の肝がんも出てきているので、肝炎と肝がんを１つにまとめることは議論が必要である。

○ＰＥＡＣＥ研修について、国指定のがん診療連携拠点病院に対して、がん医療に携わる医師を対象として９０％以上の受講率を求められているが、緩和医療についてチーム医療が進んできており、医師以外のスタッフが受講することが非常に重要であって、地域で緩和ケアに携わっている人も必須に近い形でＰＥＡＣＥ研修を受講するという形にしていく必要がある。

○国指定のがん診療連携拠点病院において、医師は９０％以上の受講率を求められる中で、日直や当直をしながら研修に参加しているが、医師は転勤が多いため、各病院で研修対象者がどんどん増えている。研修プログラムの中での、eラーニングなどで個人学習できるように等、工夫の検討が必要だと思う。そうすることにより、研修の受講率の向上にも繋がる。

【審議結果】

　○第二期大阪府がん対策推進計画の取組み状況について承認を得た。

### （3）次期大阪府がん対策推進計画策定に向けて

【意見要旨】

○ゲノム医療の話が進んできているので、遺伝子情報から家族の情報も分かるので、そういったケアをするカウンセラーの養成が、今後、必要になってくるのではないか。

○高齢者のがん患者の方が増えてきている中で、認知症の方ががんになって、治療を受ける際は、介護の方が服薬確認をされている状況がある。認知症の方のがんの治療についても今後、スポットを当てて頂けたら救われる方が多いと思う。

○大阪がん患者団体協議会より次期計画の骨子を提出させて頂くので取り入れていただきたい。

○小児がんにおいて国が中心となり、議論されているが、妊孕性の問題がある。ＡＹＡ世代、小児がん全般で話が出ており、実際に研究班が立ち上がって、一定の施設ごとの取組みが進められているが、大阪府においてはまだ、そのような動きにはなっていない。実際に保存する施設や、民間に頼るところになるかと思うが、ある一定の基準を持って紹介できるようにするとか、考えてもらいたい。また、費用面で断念する方が多いと聞いており、~~。~~大阪市内には生活保護世帯が多く、経済格差が反映することがあるので、将来的には公的なバンクを設立するような議論を入れて頂けたらと思う。

（４）その他

○大阪がん患者団体協議会からの要望文を基に要望を聞き受けた。

・大阪府の議事録概要（HPで公表分）について基本的には概要でも構わないが，記録に残してほしい。

・第2期大阪府がん対策推進基本計画の取組状況について、「自己評価欄」が設けられるようになったことは評価できる。しかし、「テーマの達成度」についての評価であり，成果も含めた評価をすべきではないか。部会の一部の委員も「事務局の報告だけでは，成果がわからないので正しい評価ができない」という意見があり、今後の改善をお願いする。

○がん患者サイドからすると，「テーマの達成度」も然ることながら，「その部会が府民やがん患者から感謝される任務を果たしたか否か」を評価してほしい。府民や患者による評価も検討して欲しい。

○現状の部会は実質的に事務局報告の審議だけで終わっているので、改善をお願いしたい。